

問1 水が目に見えないすがたに変わったものを何とといいますか。

問2 水が空気中に出ていく量と、水を置く場所のあたたかさ（温度）には、どのような関係がありますか。

問3 水を入れたコップにふたをしておくと、中の水の量がほとんど減らないのはなぜですか。

問4 水を熱し続けたときに、入れ物の中の水が減っていくのはなぜですか。

問5 水がふっとうしているとき、水の温度はおよそ何℃になりますか。

問6 しめった地面がかわいていくのは、地面の中の水がどうなるからですか。

問7 水が空気中に出ていって、水じょう気になることを何とといいますか。

問8 水を熱し続けて、水がふっとうしている間、水の温度はどのように変化しますか。

問9 次のうち、目に見えない「気体」のなかまはどれですか。

問10 熱せられた水が100℃近くになり、さかんにあわを出しながらわき立つことを何といいますか。

問11 水じょう気が空気中で冷やされて、目に見える小さな水のつぶになったものを何といいますか。

問12 水が温度によってすがたを変えると、気体の状態になっているものの名前は何ですか。

問13 水が凍り始めてから、すべての水が完全に凍ってしまうまでの間、温度はどのようになりますか。

問14 水蒸気が液体である水に変わるのは、水蒸気をどのようにしたときですか。

問15 プラスチックの容器に水をすき間なくいっぱいに入れて、冷凍庫で凍らせると、容器や氷の様子はどうなりますか。

問16 水がふっとうしているとき、水の中はどのような様子になりますか。